

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 1 3

発生場所

外来待合室

精神・意識障害の有無

無

発生場所（その他）

関連したもの

椅子

発生内容の分類

転倒

リスク

C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク

D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク

発生内容

臨時で出した簡易イス（丸イス）よりバランスをくずし転倒される。

概要

外来待合室が混んでおり臨時に簡易イス（丸イス）を待合室から放射線科に行く狭い通路に置き対応していた。病棟からのストレッチャーが通る為、座ったまま後ろに下がろうとしたところ、バランスをくずし後方へ転倒。壁に頭部を強打する。左後頭部2～3cm程の切創をステイプラーで6針縫合。意識清明。（患者は循環器の疾患を持っており、ワーファリン2.75mg、バイアスピリン100mg服用中であった。）

要因

安定性がないイスの使用。狭い通路。

対策

安定性のある長イスを購入。

参照



〈対策前〉
安定性がない
簡易イス



〈対策後〉
安定性のある
長イス